



数字で見る海事 2022

MLIT Maritime Bureau Annual Report 2022 in figures

第1章 海上輸送分野

1. 外航海運

①世界の外航海運業の現状

世界の主要品目別海上荷動き量	1
世界のコンテナの荷動き	1
アジアの主要港湾のコンテナ取扱量推移	2
世界の港湾のコンテナ取扱量ランキング	2
北米航路コンテナ荷動き量推移	3
欧州航路コンテナ荷動き量推移	4
アジアにおける日本発着コンテナ荷動き量推移	5
各アライアンスの運航船腹量及び取扱貨物量の比率	6
アライアンス再編の動き	6
北米航路・欧州航路運賃推移	7
世界のばら積み船主要貨物の主要トレード	7
主要航路の荷動き（2020年）＜原油・鉄鉱石＞	8
主要航路の荷動き（2020年）＜原料炭・一般炭＞	9
乾貨物定期用船料推移	10
タンカー定期用船料推移	10

②我が国外航海運企業の輸送動向

我が国の品目別海上貿易量及び貿易額	11
我が国の地域別海上貿易量の推移	12
我が国の海上貿易量の地域別シェア（コンテナ貨物）	13
我が国の海上貿易量の地域別シェア（不定期貨物船）	13
我が国商船隊の輸送量及び運賃収入	14
世界の海上荷動きに占める我が国商船隊の輸送量の割合の推移	15
日本籍船・外国用船輸送量及び積取比率の推移	15
日本商船隊の構成の変化	16
我が国商船隊の船籍国別一覧	17
我が国商船隊の船種別一覧	17

③我が国外航海運企業の現況

海運大手3社の損益の推移	18
海運大手3社の部門別営業収益推移	18
営業収益、営業費用に占めるドル建て金額の割合の推移	19
対ドル為替変動の営業損益に与える影響	19

2. クルーズ・外航旅客船定期航路

①我が国を取り巻く世界各国のクルーズ状況

世界のクルーズ人口の推移	20
外航・国内クルーズを利用する日本人乗客数の推移	20

外航旅客定期航路等の現況	21
外航旅客定期航路等の乗客数の推移	21
外航旅客定期航路の現況	21

3. 国内旅客輸送

①旅客船事業の概況

各航路事業の業種別概要数	22
旅客輸送実績	23
自動車航送実績	24
旅客航路事業の収支状況の推移（航路損益）	25

②長距離フェリー事業の現況

長距離フェリー航路の輸送実績	26
長距離フェリー事業者収支状況	27
長距離フェリー事業者財務状況（9社）	27

③離島航路事業の現況

事業者経営形態	28
就航船舶	28
離島航路の旅客輸送実績	28
離島航路の収支状況	28
届出事業者数の推移	28
離島航路補助金の交付実績	29

4. 内航海運

①内航海運の概況

輸送機関別シェア（2020年度：トンキロベース）	30
輸送機関別貨物輸送量の推移	31
輸送品目別シェア（2020年度）	32
主要品目別輸送量の推移	32
輸送機関別のCO ₂ 排出原単位[g-CO ₂ /トンキロ]（2020年度）	33
内航船員1人・1時間あたりの輸送量推移	33
貨物輸送サービス価格推移（2015年基準）	34
内航船舶の推移	35

②内航海運業者の現状

内航海運の事業構造	36
-----------	----

③財務状況

内航海運の固定資産割合（2019年度）	37
---------------------	----

④内航船の現状

内航船の船型別船腹量	38
内航船の船種別船腹量	38
船種別新造船隻数の推移	39

船齢構成の推移	39
5. 港運	
①我が国港湾をめぐる現状	
世界の国際海上コンテナ荷動量（2020 年（対 2010 年比））	40
アジア主要港におけるコンテナ取扱貨物	40
②港湾運送事業の現状	
港湾荷役の作業形態	41
港湾別港湾運送事業の許可数及び事業者数及び中小企業比率	41
事業者数・港湾労働者数の推移	42
港湾運送料の推移	42
品目別船舶積卸量の推移	43
我が国港湾とアジア主要港との欧米機関航路寄港便数の比較	43
③LNG バンカリング拠点の形成	
国際コンテナ戦略港湾政策の概要	44
LNG バンカリング拠点の形成	44
LNG バンカリング（Ship to Ship）のイメージ	45

第2章 船舶産業分野

1. 造船市場の動向	
我が国造船業の新造船受注量の推移	46
我が国造船業の新造船建造量の推移	46
2. 船用工業市場の動向	
2ストロークディーゼル機関のブランド・国別生産状況	47
4ストロークディーゼル機関のブランド・国別生産状況	47
3. 舟艇工業の動向	
舟艇工業における総出荷額の推移	48
舟艇工業における輸出金額の推移	48
舟艇工業における国内向け出荷額の推移	49
プレジャーボート国内出荷隻数の推移	49
4. 造船業における人材確保・育成	
我が国造船業の従業員数の推移	50
我が国造船業の技能者（社内工）の年齢構成の変化	50

第3章 船員分野

1. 船員数等の動向	
我が国の船員数の推移	51
我が国船員数の分野別年齢構成	51
船員職業紹介状況の推移	52
船員の有効求人倍率の推移	52

海技者セミナーの参加者数、事業者数、開催地	53
船員と陸上労働者の給与（月額）比較	53
2. 船員災害の発生状況	
船員の死傷災害発生率の推移	54
死傷災害発生率の海陸比較	54
3. 船員災害防止のための措置	
船員災害防止に関する法令の措置	55
令和4年船員災害防止実施計画について	55
船員災害防止に関する表彰制度等について	56

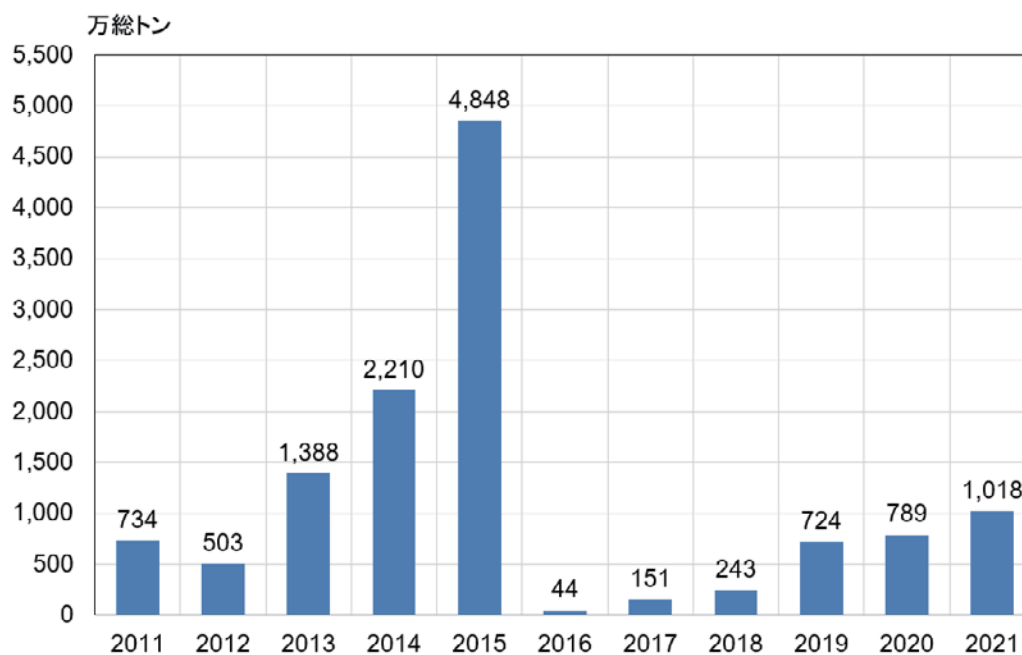
第4章 海上安全・保安の確保と環境保全

1. 国際海事機関（IMO）	
IMO の組織図	57
2. 安全確保の柱としての資格制度	
船員の乗組み体制	57
海技免許有効者数	58
小型船舶操縦免許有効者数	58
締約国資格受有者承認証有効者数	58
3. 航行を支える水先業務	
水先区及び水先人数	59
4. 船舶による油濁問題への取組	
油による汚染損害の賠償・補償制度の概要（持続性油タンカーが対象）	59
5. ポートステートコントロール	60
6. 運航労務監理官による監査	60

第2章 船舶産業分野

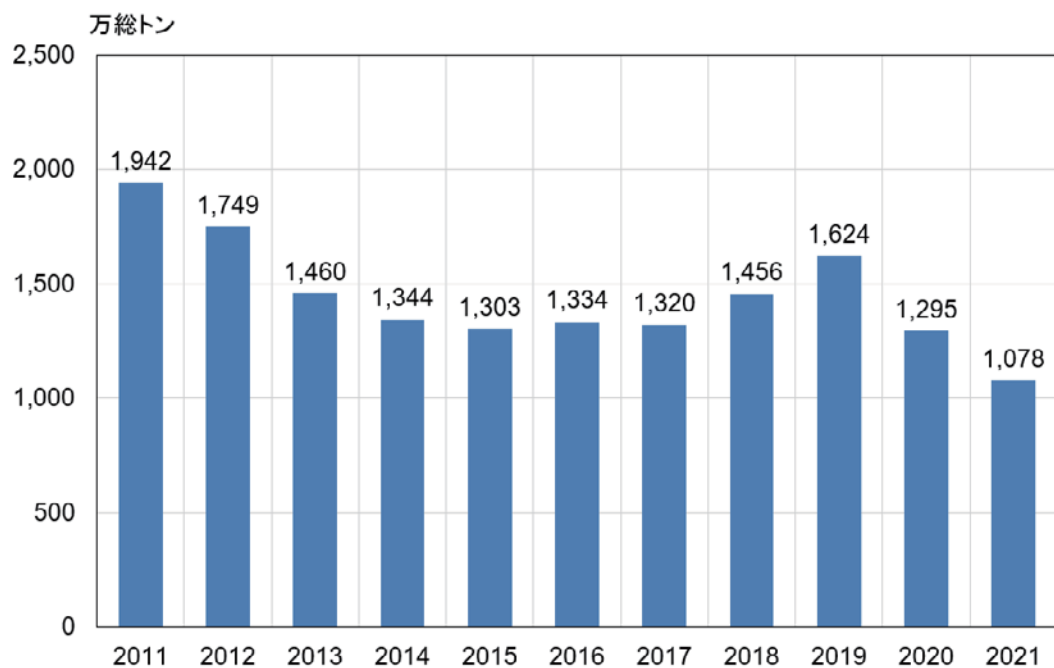
1. 造船市場の動向

【図表 2-1】我が国造船業の新造船受注量の推移



出典：IHS Markit より国土交通省海事局作成

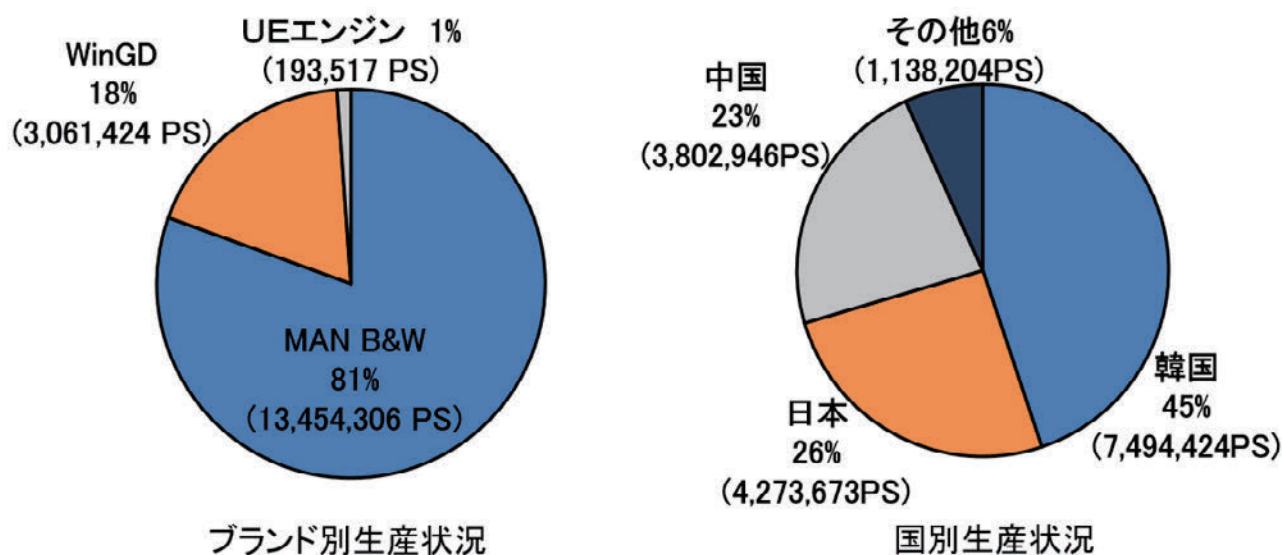
【図表 2-2】我が国造船業の新造船建造量の推移



出典：IHS Markit より国土交通省海事局作成

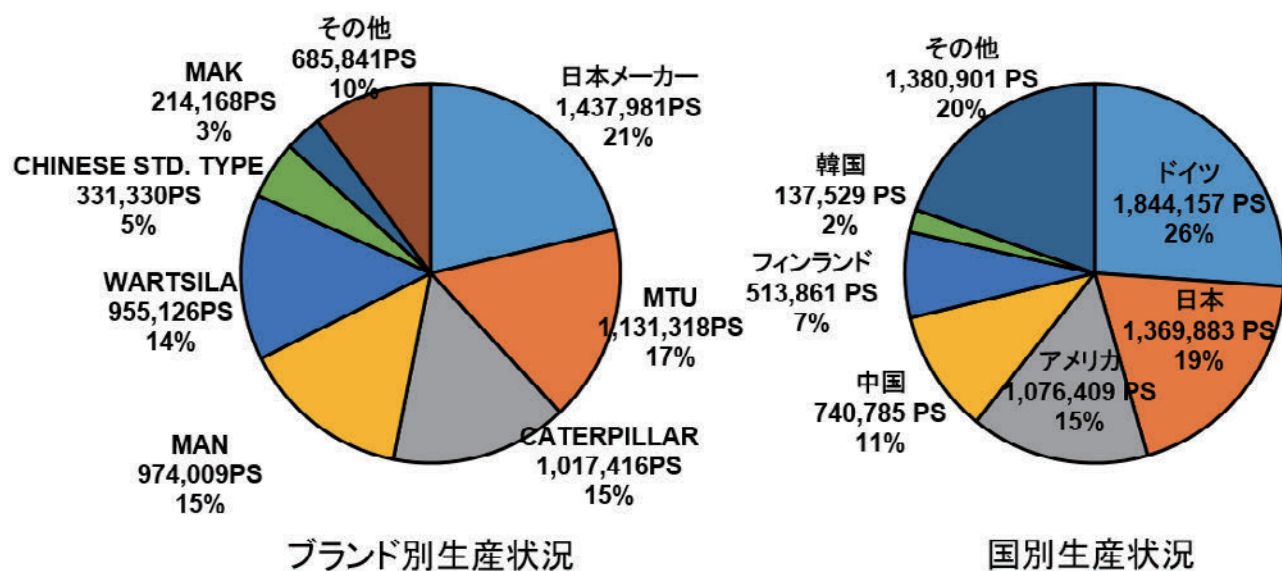
2. 船用工業市場の動向

【図表 2-3】 2 ストロークディーゼル機関のブランド・国別生産状況



出典：IHS Markit より国土交通省海事局作成（2020 年竣工ベース）

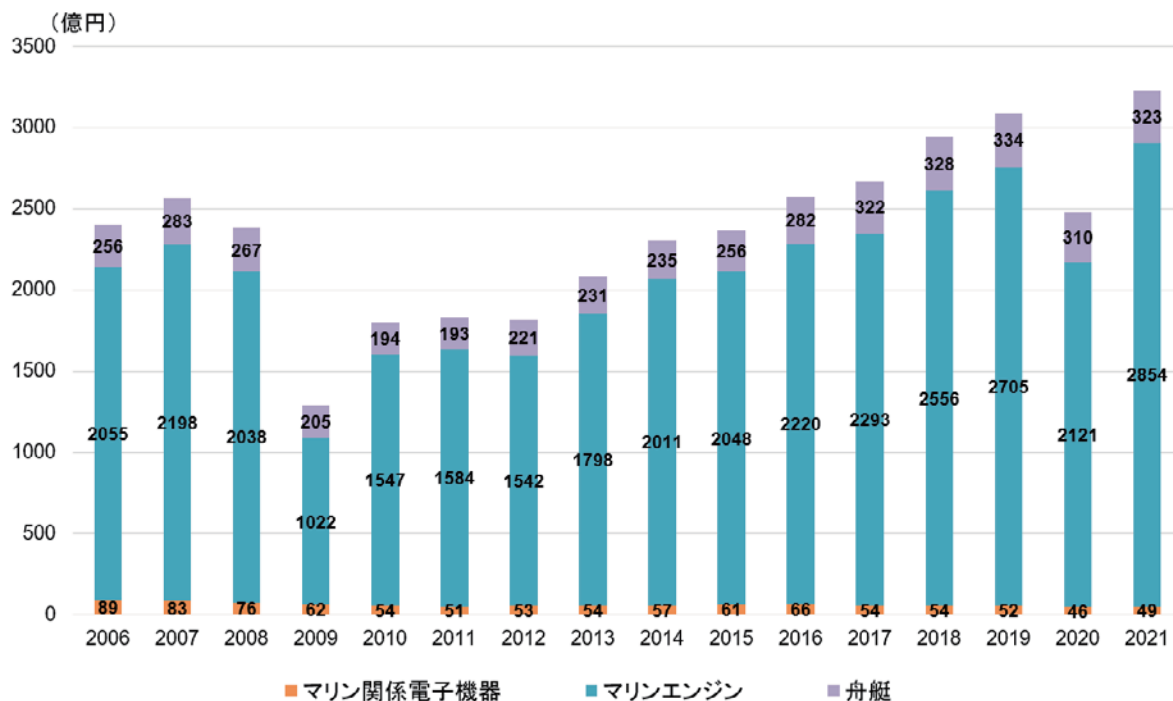
【図表 2-4】 4 ストロークディーゼル機関のブランド・国別生産状況



出典：IHS Markit より国土交通省海事局作成（2020 年竣工ベース）

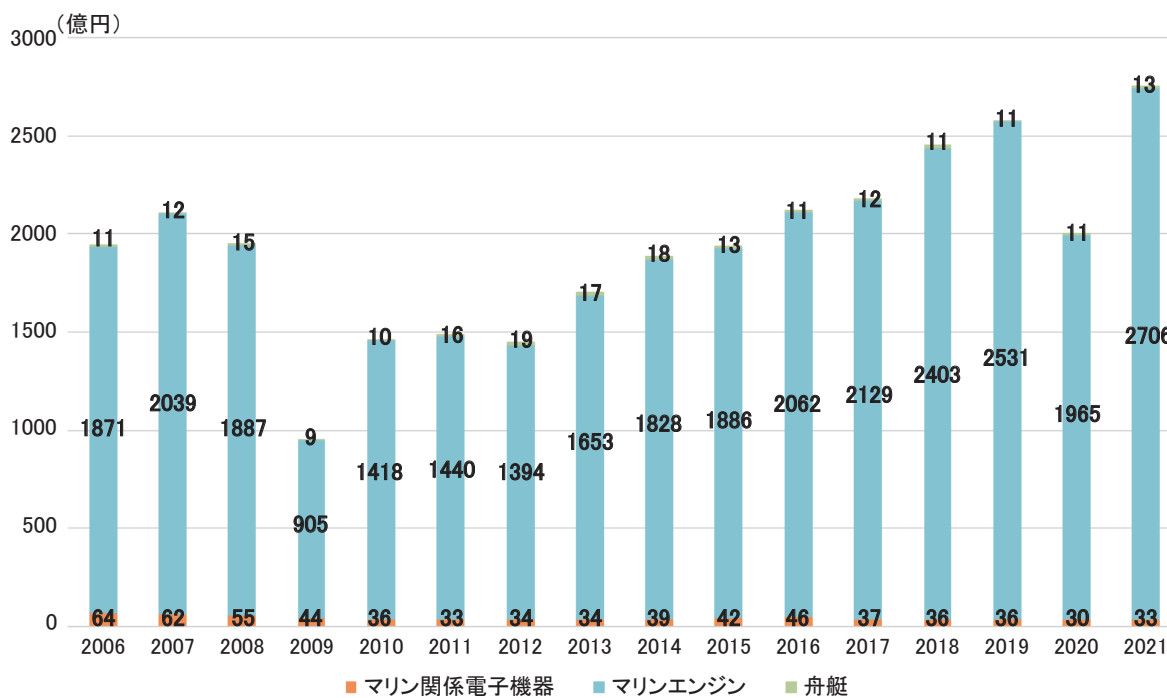
3. 舟艇工業の動向

【図表 2-5】 舟艇工業における総出荷額の推移



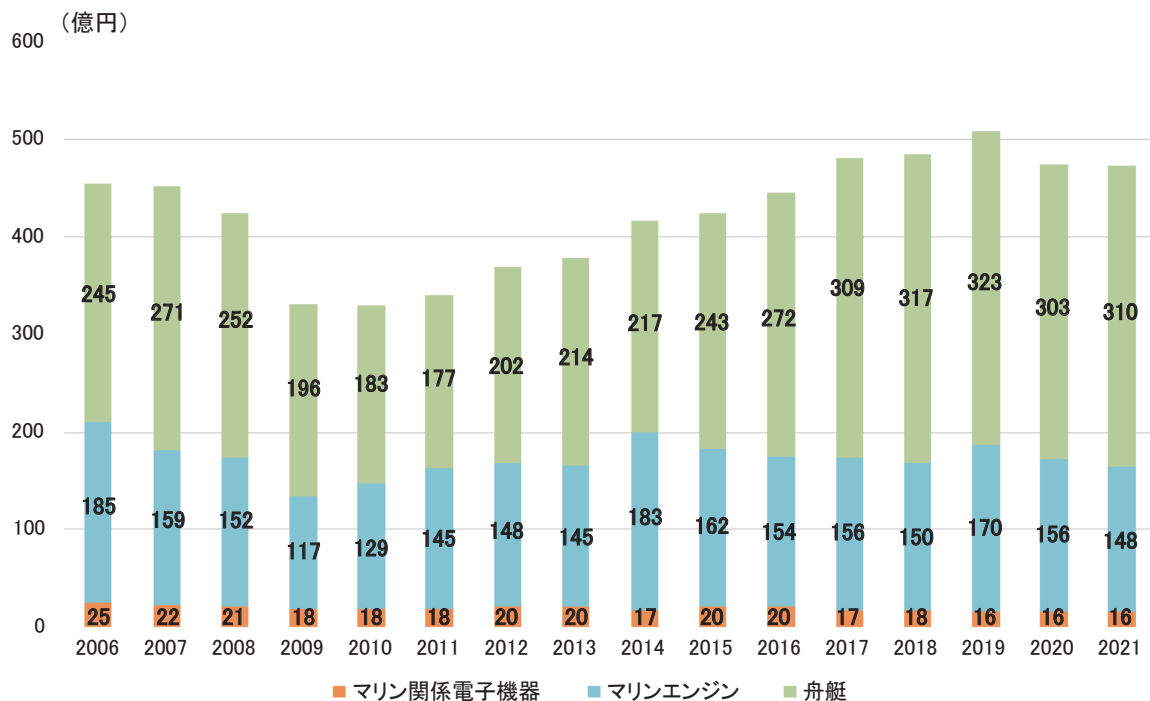
(一社)日本マリン事業協会資料より国土交通省海事局作成

【図表 2-6】 舟艇工業における輸出金額の推移



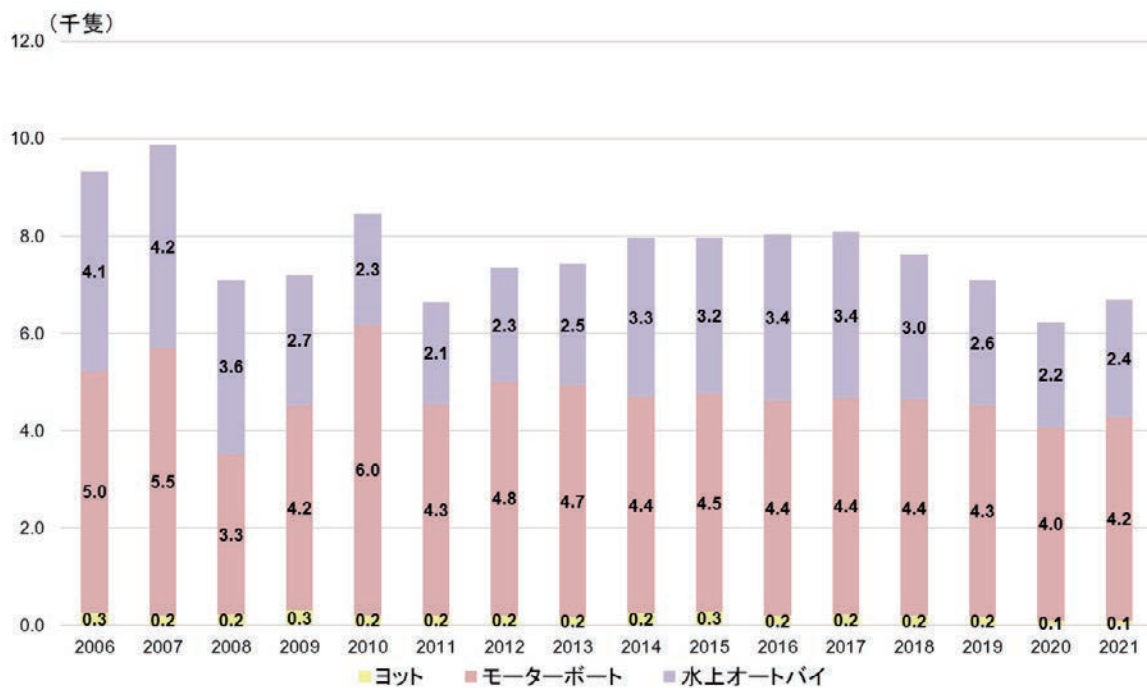
(一社)日本マリン事業協会資料より国土交通省海事局作成

【図表 2-7】 舟艇工業における国内向け出荷額の推移



(一社)日本マリン事業協会資料より国土交通省海事局作成

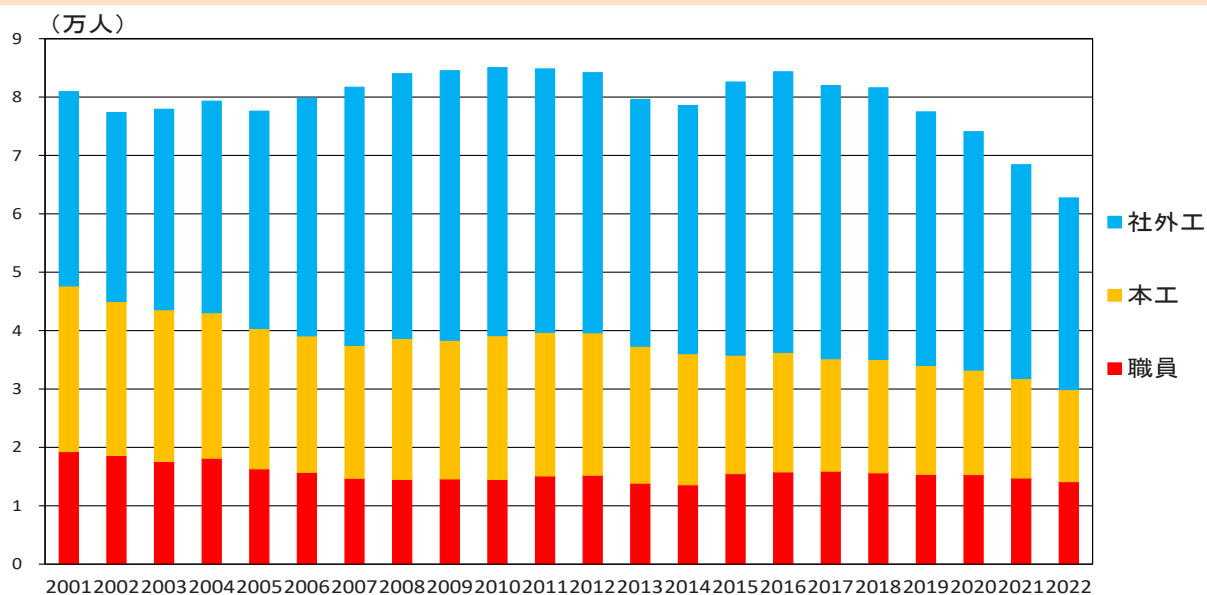
【図表 2-8】 プレジャーボートの国内出荷隻数の推移



(一社)日本マリン事業協会資料より国土交通省海事局作成

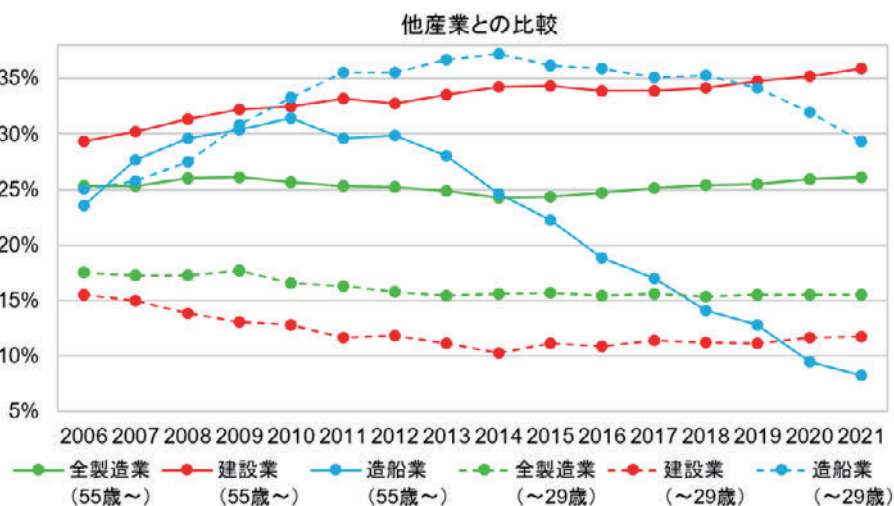
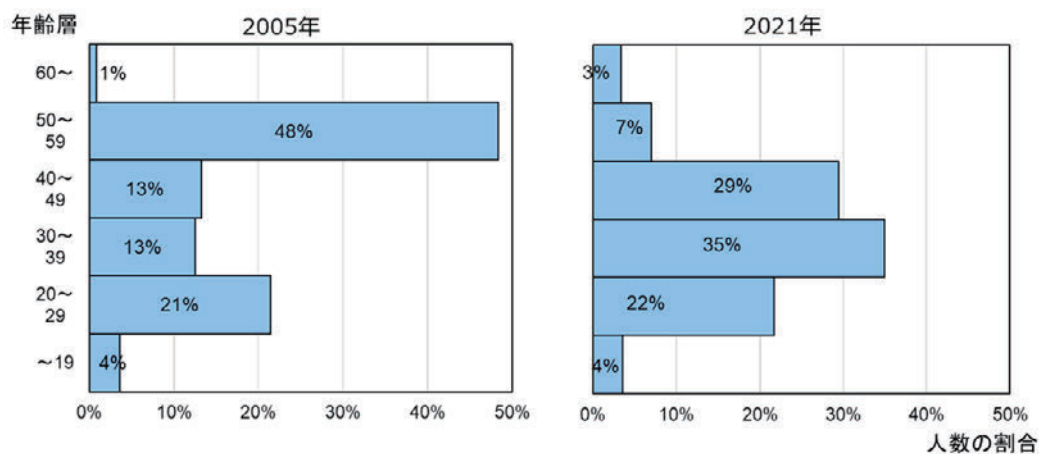
4. 造船業における人材確保・育成

【図表 2-9】我が国造船業の従業員数の推移



各年4月1日時点。国土交通省海事局調べ

【図表 2-10】我が国造船業の技能者（社内工）の年齢構成の変化



出典：造船業は（一社）日本造船工業会調べ。その他は「労働力調査」による。

数字で見る海事 2022

MLIT Maritime Bureau Annual Report 2022 in figures



海ココ

検索



私たちは「C to Sea プロジェクト」を
推進しています



海ココちゃんねる

